矛盾（むじゅん）

がつ　にち　なまえ

基礎（きそ）③

矛盾（むじゅん）（中国の古い話）

昔、中国の楚（そ）という国に、たてとほこを売る商人がいました。ほこは、相手をつくための長いやりのような武器（ぶき）で、たては、それをふせぐための板です。

商人は、まず、たてを高くかかげて言いました。「このたてのかたいことといったら、どんなにするどいほこでも、つき通すことはできません。」

次に、ほこを手に取って言いました。「このほこのするどいことといったら、どんなにかたいたてでも、つき通してしまいます。」

すると、話を聞いていた一人の客がたずねました。「では、そのほこで、そのたてをついたら、どうなるのかね。」

商人は、何も答えられませんでした。まわりで聞いていた人たちは、どっとわらいました。

この話から、前と後ろで言っていることのつじつまが合わないことを、「矛盾（むじゅん）」というようになりました。「矛（む）」はほこ、「盾（じゅん）」はたてのことです。

1 商人が売っていたのは、たてと何ですか。

たてと［　　］

2 客の質問（しつもん）に、商人はどうしましたか。

ア　すぐに答えた。
イ　何も答えられなかった。
ウ　おこって帰った。

3 商人の言葉の、どこがおかしいのですか。

ア　ほこもたても、どちらも「一番」だと言っていること。
イ　ねだんが高すぎること。
ウ　品物が古いこと。

4 つじつまが合わないことを、何といいますか。

「［　　］」

ぜんぶ　できたら　ほしに　いろを　ぬろう ☆ ☆ ☆

© きりんドリル kirinprint.shosakumo0806.workers.dev